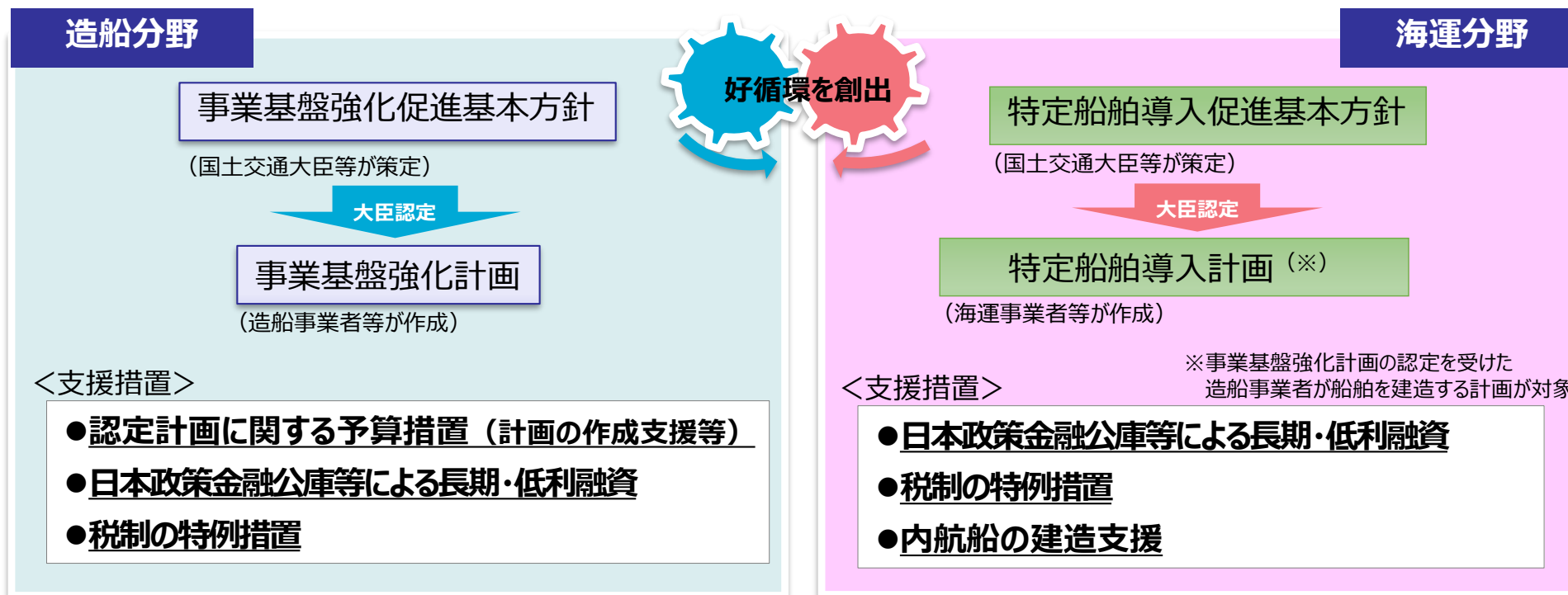


海事産業強化法（令和3年5月21日公布、8月20日施行）

- <造船分野> 造船事業者等が作成する生産性向上や事業再編等に係る計画の認定・支援制度を創設。
- <海運分野> 海運事業者等が作成する、安全・低環境負荷で船員の省力化に資する高品質な船舶（特定船舶）の導入に係る計画の認定・支援制度を創設。

⇒ 船舶の供給側の**造船業**と需要側の**海運業の両面からの総合的な施策により好循環を創出**



(株)大島造船所の事業基盤強化計画(概要)

企業概要

- 「バルクの大島」を掲げ、中小型バルクキャリアの建造に特化し、高速建造により高い生産効率を誇る。心ひとつに「特色ある世界一造船所」を目指す。
- 三菱重工業(株)殿から同社長崎造船所香焼工場の土地・設備を取得し、従来の1工場制から2工場制とすることにより、更なる事業規模拡大を目指す。



計画の概要

- 大島造船所で建造しているばら積み船について、国際環境規制を上乗せ・先取りして達成する環境対応船(2025年から適用の国際海事機関による新造船燃費規制(EEDI規制)フェーズ3の要件を大幅に上回る性能を達成可能な船型、風力推進船やLNG燃料船など)の開発を行い、製造する。
- また、新たな生産設備の取得・更新等に関する設備投資を行い、生産性の向上を図るとともに、洋上風力発電等の新分野への展開も図る。

<計画実施時期> 2021年9月～2026年3月

<計画を実施する場所>

- 長崎県西海市大島町1605-1 株式会社大島造船所大島工場
- 長崎県長崎市香焼町馬手ヶ浦5-5 株式会社大島造船所香焼工場 (資産譲受後)

川崎重工業(株)の事業基盤強化計画(概要)

企業概要

- 川崎重工業グループは1896年の創立以来、120年以上にわたり、造船、機械、車両、製鉄、鉄構、航空、海運等の様々な事業分野に進出し、分離・合併を経て、陸・海・空にわたる総合重工業メーカーとして成長してきた。
- 祖業である造船分野においては、性能・信頼性が高く評価されているLNG船やLPG船をはじめ、コンテナ船、大型タンカー、自動車専用船などの商船ならびに潜水艦や巡視船などの官公庁船の建造を手がけるとともに、これまで蓄積した技術を基に液化水素運搬船、ガス燃料船や自律型無人潜水機等の新たな分野にも取り組んでいる。

計画の概要

- 川崎重工業における、新造船建造の新たな生産方式として、営業、調達、設計、工作の各建造ステージの製造関連データベースを「全体一気通貫」の形で共通システム化(デジタルシップヤード化)し、全体工程整流化によりリードタイムの最小化を図る。
- これにより、膨大かつ複雑な艀装工事が必要となる液化水素運搬船の施工方法の確立も視野に入れつつ、環境性能に優れた液化ガス運搬船等の新造船の効率的な建造体制を確立する。

<計画実施時期> 2021年9月～2026年3月

<計画を実施する場所>

- 香川県坂出市川崎町1番地 川崎重工業(株)坂出工場
- 兵庫県神戸市中央区東川崎町3丁目1番1号
川崎重工業(株)神戸工場



ジャパン マリンユナイテッド (株) の事業基盤強化計画(概要)

企業概要

- 商船事業は、JMUの中核事業であり、タンカー、バルクキャリア、コンテナ船を中心に幅広い船種をラインナップとし、自社研究所と高い技術力の蓄積を以て、最新鋭の商品開発・建造に取り組んでいる。
- 海洋・エンジニアリング事業では、洋上風力浮体の設計・製造・据付・メンテナンスの実績があるほか、船級認証※を取得した浮体デザインを有し、国内屈指のプレーヤーとして、更なる成長を目指す。※DNVによる
- 艦船事業は、護衛艦・巡視船・その他官公庁船の主要サプライヤーであるとともに、砕氷船である南極観測船「しらせ」など特色ある船舶の建造も手掛ける。また、艦船修理でトップクラスのシェアを有する。

計画の概要

- 生産手法・生産管理手法の再構築を図るとともに、積極的な設備投資により各新造商船建造事業所の作業能率を向上させ、コスト競争力を強化する。
- また資本業務提携を締結した今治造船(株)、当社および今治造船(株)が共同出資した合併会社 日本シップヤード(株)と、LNGやアンモニアといった低・脱炭素代替燃料を導入した船舶や、国際基準を先取りした環境配慮型の新たな船型開発などの商船分野とともに、洋上風力分野で連携し、同一デザイン・二社建造による同型船での受注拡大、大型ロット案件への対応力強化、設計の事業所間流用を推進する。
- これらを通じて、環境規制強化や低・脱炭素化に向けた社会的要請の高まりに応える船舶を建造するとともに洋上風力発電関連事業の拡大等に取り組む。また、艦船事業は、引き続き護衛艦、巡視船、官公庁船等の主要供給源でありつつ、修理事業も拡大する。

<計画実施時期> 2021年9月～2026年3月

<計画を実施する場所> 本社、有明、呉、津、舞鶴、横浜(磯子、鶴見)、因島



(株)三浦造船所の事業基盤強化計画(概要)

企業概要

- 当社は「感謝をQualityにこめて」を理念に掲げ、トラブルのない良質な船舶を建造することをモットーに中小型船の建造事業を展開。
- 当社では、内航船のほぼすべての船種を建造可能であること、また、短納期にも対応可能なことを強みとしており、特にセメント運搬船や石灰石運搬船などの特殊船について豊富な実績や技術力の高さに好評を得ている。



本社工場(大分県佐伯市)

計画の概要

- 今後内航船市場においても環境性能が競争力の源泉となることを見越して、環境性能を向上させる船型を実現する技術を開発するとともに、多様な船種に対応可能であるという同社の強みを活かし、当該技術を様々な船種に順次適用することで、今後のマーケットニーズへの対応を目指す。
- 加えて、今般の技術開発に際して、現在使用している設計計画ソフトの増設、CADソフトを2Dから3Dへ変更する等により設計力を強化することとし、また、工数が増加する中でも短納期という強みを維持するため、現場の生産管理のための設備投資も進め、現場の生産性向上も同時に図ることとする。

<計画実施時期> 2021年9月～2026年3月

<計画を実施する場所>

- 大分県佐伯市大字鶴望4900番地 (株)三浦造船所本社工場
- 大分県佐伯市大字海崎字片山沖842番4 (株)三浦造船所海崎工場
- 大分県佐伯市鶴谷町1丁目7番35号 (株)三浦造船所野岡工場

